

研究課題名：災害被ばく時の放射線影響に関する意識調査解析による検討

研究責任者：宮城県対がん協会放射線課 八島幸子

1. 研究の対象

対象は、宮城県対がん協会の医療従事者である。放射線に関する意識調査(アンケート調査)のデータを対象とする。

2. 研究目的・方法

2016年に災害被ばく及び医療被ばくに伴う放射線影響相談に対応するため、医療機関従事者の放射線に関する意識調査を行い、放射線業務専門資格を有する従事者、放射線以外の医療専門資格を有する従事者、医療専門資格を有しない従事者において比較検討した。本研究は、そのデータについて再度解析検討を行い、放射線被ばくに対する認識の問題点を把握することを目的とする。研究結果について誌上発表する。

研究期間:2022年2月15日から2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

放射線に関する意識について、質問紙法にて調査した2012年から2016年のデータを用いる。調査への参加は任意とし、調査用紙への記入をもって同意を得たものとした。調査においては無記名で、年齢は年代を選択する方式とした。アンケート情報は匿名化され、個人情報に含まれていない。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

研究責任者：八島幸子

研究責任者の連絡先：宮城県対がん協会放射線課

TEL：022-292-0113

E-mail: m.hosyasen@miyagi-taigan.or.jp